



## 心臓カテーテルに合併した脳梗塞の神経学的転帰に関する検討

2011年1月1日より2013年12月31日までに、日本医科大学付属病院循環器内科で心臓カテーテルを受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「心臓カテーテルに合併した脳梗塞の神経学的転帰に関する検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2011年1月1日より2013年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて、心臓カテーテルを受けられた患者さんの中でカテーテル後に脳梗塞を起こされた患者さんの割合や特徴、また脳梗塞に対する治療の内容や効果を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：心臓カテーテルに合併した脳梗塞の神経学的転帰に関する検討

研究期間：研究実施許可日～2025年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 講師 時田 祐吉

### (2) 研究の意義、目的について

脳梗塞は心臓カテーテルの合併症の一つですが、脳梗塞を起こすと入院期間が長くなったり、後遺症が残ったり、死亡に至る可能性もある重篤な合併症の一つです。しかしながらこれまでの研究で予防法などは確立されていません。本研究では、心臓カテーテルを受けられた患者さんを対象に、脳梗塞の発症率、どういった方に起こりやすいか、起こった場合の治療内容と治療後の経過からどのような治療が有効かを明らかにすることを目的といたします。本研究の結果から心臓カテーテルに合併する脳梗塞の予防法や起こった場合の有効な治療法を見出すことが期待されます。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2011年1月1日より2013年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科にて、心臓カテーテルを受けられた患者さんの特徴、心臓カテーテル内容、カテーテル後に脳梗塞を発症したかを後ろ向きに（過去に行われた診療上のデータを個人を特定できない形で収集して）解析し脳梗塞を発症した群としなかった群を比較し、脳梗塞発症に関連する要素を検討します。また脳梗塞を発症した群において脳梗塞に対する治療内容、脳梗塞発症時および退院時の脳梗塞の症状を後ろ向きに解析し、治療内容の効果に関して検討します。

この研究は患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、過去の病気、内服薬、心臓カテーテル内容、脳梗塞発症有無、神経学的所見（脳梗塞の症状）

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「共同倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 講師 時田 祐吉

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27518

メールアドレス：yukichi@nms.ac.jp